

山岳トイレ技術導入のための事例検索データベースの作成について

1. データベース作成の背景

山岳地にトイレを導入する際、地域や標高、利用状況などによって設置条件は大きく異なり、山岳トイレ技術も多岐に渡っている。しかし、技術を比較するための情報が少ない中、設置後にトラブルが発現する事例も見られている。

一方、実証事業は、試験を通して客観的なデータを示す実証であり、基準を設けて適合性を判定する認証ではない。従って、実証事業において、各ユーザーにとって最良の技術を選定させることはできない。そのため、これを補完する資料としてデータベースの提供が求められている。

2. データベース作成方針

今回のデータベースの基本的な考え方としては、利用者を実証済み技術である非放流式トイレの情報提供を目的とした事例検索システムを構築することとする。その為、システム利用者は、検索した事例情報から、各自の判断で導入する装置を選定することとなる。

また、し尿処理全般に関する情報が不足しているユーザーも想定し、非放流式トイレ以外にも選択肢があることを認識してもらう必要があるので、浄化槽や汲み取り等に関する基礎的な情報も提供する。(この情報については、データベース作成 WG の検討とは別途整理する)

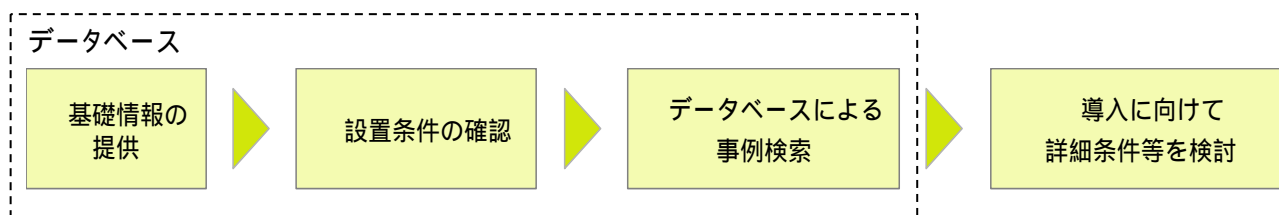
なお、適正なトイレ種類の選択については、別な手法(データベース以外の選択マニュアルの作成など)にて検討を行うことが望ましいと考えられる。

3. データソース

データソースは、本実証事業での実証済み技術を基本とするが、事例数が 15 技術(平成 19 年度)と十分ではないことから、補完的に「自然公園等における公衆トイレ調査(参事官室 2007)」及び「平成 18 年度山岳トイレ整備調査簿作成業務(国立公園課 2006)」からも参考となる情報も抽出し、検索できるようにする。

4. 利用の手順

データベースの利用者は、別途整理する「し尿処理体系の基礎情報」より、非放流式トイレの導入を行うことが適当とした際、「設置条件」から、「導入事例を検索」し、詳細情報を閲覧。また、可能な限り、導入した自治体や山小屋等の情報も掲載し、問い合わせ性を確保する。



し尿処理方式の基礎情報の提供

し尿処理方式の全体像を把握するための情報を提供し、検討を進める上での基本的考えを

整理する。(例：下水道、浄化槽、非放流式、カードリッジ輸送、汲み取り、携帯トイレの各特長と設置条件を示す。)

自己の環境要件の選択

で、非放流式の技術が適当と判断した人は、事例情報を得るために設置条件などの自己の環境要件を選択し、検索を行う。【標高、気温、積雪、電力、水、輸送手段、稼働期間、燃料、利用人数、処理能力など】

データベースによる事例検索

アウトプットとして表示される事例は、「実証事業データ」と「その他のデータ」を区別する。その他のデータではメーカー名は表示しないこととするほか、処理方式で検索できるようにする。

導入に向けた詳細検討

技術導入に向け、詳細な点について問い合わせなどを行い検討する。

5 . 作成に向けたスケジュール案

20 年度

- ・ データソースの確認
- ・ データベース作成方針の決定
- ・ 項目案（下記表）の決定
- ・ し尿処理体系の整理

21 年度

- ・ 各データソースの加工
- ・ D B デモ版を作成し、拡大WGにて検討

22 年度

- ・ 試験運用
- ・ 版の作成

<表：DB項目案>

	項目	付随事項	補足
検索対象項目	建物名称		検索対象項目とは、データベースから事例を検索する際に、入力する項目。(必ずしも全て入力しなくても検索は可能)
	標高		
	気温	最高/最低	
	最大積雪		
	電力	確保方法/消費電力量	
	水	水量/確保方法	
	輸送手段		
	稼働期間		
	燃料	種類/費用/運搬費	
	利用人数	平常時/ピーク時	
	処理能力	平常時/ピーク時	
	処理方法		
	設置面積		
	その他詳細データ	建設コスト 総事業費(千円)	
ランニングコスト(提示額・千円)			
保守点検費			
消耗品費			
日常清掃 実施頻度(回/日)			
廃棄物の種類			
廃棄物処理方法			
廃棄物発生量		廃棄物処理費用	
トラブル事例			
トイレに関する悩み		導入して良かった点/導入に際してのアドバイス	
設置者		選定理由/管理のし易さ	
利用者の声			
施工期間			
設置場所			